



池田小だより

10月号 No. 7

新座市立池田小学校 令和5年9月29日(金)

学校のキャッチフレーズ

「やる気・ゆう気・げん気あふれる学校 池田小」

学校生活・センスの基本をつくる

校長 鶴田千尋

2学期が始まって1か月が経ちました。なかなか秋の気配が訪れず、真夏のような日々が続いていましたが、ここにきてようやく過ごしやすくなってきました。

報道等でご存知かと思われませんが、季節外れのインフルエンザが大流行しており、本校でも学級閉鎖を行った学級がいくつか出ております。まもなく運動会に向けての取組が始まりますが、元気に参加できるように、ご家庭においても再度の感染対策をお願いいたします。10月28日の運動会に向けて怪我無く、全ての子供たちが本番を迎えられるように十分に配慮していきたいと存じます。

芸術の秋

さて、10月、学校は運動会に向かってまっしぐらという状況になりますが、この時期は運動(スポーツ)だけではありません。様々なことが真っ盛りの時期です。食事、勉強、読書などに最適です。

芸術の秋ともいわれます。様々な芸術がありますが、学校において芸術といえば、やはり図画工作が一番に思い浮かびます。私が子供の頃は、校舎を写生したりロボットを紙やダンボールなどの箱を使って作ったりしていたように思います。

何かを作り出すという行為は同じでも、今の図画工作はもう少し抽象的な現代アートのような趣が強くなっています。写生やロボットを作ることを目的にしているとい

うのとは少し違っているようです。学習指導要領の図画工作の目標には「創造的につくったり表したりする」や「創造的に発想や構想」をするという文言があります。子供たちの感覚や感性、表現の工夫などを重要視したものであるといえるのではないのでしょうか。そっくりに絵が描けるとか精巧に作るということではないようです。

誤解を恐れずに述べるならば、美的センスの育成、作品を作る過程の手順や構成の段取り力の育成が含まれているように感じます。大人になり、仕事をするようになった際に、とても大切な力になるのではないのでしょうか。

スーツとネクタイ、洋服と靴や靴など、生活の上でのコーディネートをするのにもセンスは大切です。

本を読む

子供が本を読まなくなったという言いがかりが言われています。テレビやPCの動画、漫画、ゲームなどの様々なコンテンツが豊富な昨今の事情から、読書することが少なくなっていることが伺えます。

しかし、自分の好きな本をじっくり落着いて読むことは、気分転換や学習にとっても有意義であると思います。ぜひ、本を読んでください。10月27日～11月9日までの期間が読書週間になっています。良い本と出会うことで、新たな気持ちを持つことができるかもしれません。



池田小創立50周年記念
キャラクター「いけぼん」

新座市立池田小学校

〒352-0015 新座市池田4-8-49 (HP) <https://e-ikeda-c-niiza.edumap.jp/>

